

シンポジウム

多元系機能材料研究会・結晶工学分科会 合同企画

「多元系蛍光体の評価と制御の進展」

9月10日(13:00～17:10)

内容説明	これまで多くの多元系蛍光体が開発・研究されてきたが、現在においても評価技術、特性制御技術は進展を続けており、新たな物性の解明や特性の向上をもたらしている。特に、多元系結晶を母体とする蛍光体においては、発光中心不純物の電子状態や置換状態、母体結晶の構造など、様々な因子が発光特性に影響を及ぼしている。本シンポジウムでは、これらの因子に関する評価および制御に関する最近の進展について話題を提供いただき、議論を通じて理解を深め合う場としたい。なお、本企画は多元系機能材料研究会と結晶工学分科会との合同による。
------	---

講演題目	講演時間	勤務先(略称)	講演者名
イントロダクトリートーク:「多元系蛍光体の評価と制御の進展」シンポジウムについて	13:00～13:05	静大	原 和彦
多元系蛍光体の評価と制御の進展	13:05～13:25	NHK 技研	岡本信治
赤色蛍光体 $\text{CuAlS}_2\text{:Mn,Si}$ における Mn^{2+} 発光中心の置換サイトの制御と励起・発光特性の評価	13:25～13:55	鳥取大	大観光徳
Ca チオガレートにおける Mn 赤色発光の希土類元素添加効果と PL、PLE および ESR による評価	13:55～14:25	日大	滝沢武男
有機金属気相エピタキシャル法による Eu 添加 GaN の作製と発光特性	14:25～14:55	阪大	西川 敦
窒化アルミニウム系蛍光体における特異な希土類ドーピング	14:55～15:25	物材機構	武田隆史
休憩	15:25～15:40		
ErSiO 系自己組織化超格子におけるエネルギー伝達過程と発光特性	15:40～16:10	電通大	木村忠正
ナノシート単層膜を用いたペロブスカイト型酸化物蛍光薄膜の作製と評価	16:10～16:40	産総研	高島 浩
コンビナトリアル・スパッタ法による多元系蛍光体薄膜の作製及び EL 素子への応用	16:40～17:10	金沢工大	宮田俊弘
クロージング —多元系機能材料の魅力—	17:10～17:15	三重大	三宅秀人